



住宅型有料老人ホーム「すみれの丘」

共和会に新しい施設誕生!

住宅型有料老人ホーム すみれの丘
管理者 檜下 直浩

8月に住宅型有料老人ホーム「すみれの丘」が共和会に誕生しました。部屋数32室、定員34名となり、利用される方は介護保険における在宅福祉サービス、主に訪問介護、訪問看護等のサービスが受けられます。

有料老人ホームは簡単に分類すると、健康型、介護付き、住宅型に分かれており、「すみれの丘」は住宅型の形態となります。隣接する共和病院とは連携体制にあり、優れた看護師、介護職員を活かし、24時間365日の健康管理はもちろんのこと、介護の必要な方、医療依存度の高い方が安心してご入居いただける施設です。

現在、国内には介護保険施設として、老人福祉施設、老人保健施設、介護療養型医療施設の3つがあります。介護療養型医療施設においては、一度は2012年3月末に廃止が決まっていたほど制度上廃止に向かっており、介護難民という言葉もその時に生まれました。今後、胃瘻(いろう)やたん吸引、インスリン管理等の医療依存度の高いご利用者の受入先の問題が益々増加します。そのような社会情勢の中で、今後、介護保険施設以外の施設として、有料老人ホームがその一端を担っていくことになると思います。

当老人ホームの名称「すみれ」には、「誠実・小さな幸福」という花言葉があります。ひとつひとつのサービスが利用される皆様の幸福につながりますよう、スタッフ一同 誠実・誠意をもって、安心・快適な暮らしの実現に向けてサービスの提供を行なっていきます。



真夏の夜の夢…盆踊り大会



当院の夏の風物詩である「盆踊り大会」を、今年も8月2日に開催しました。心配された夕立も、楽しみにされていた患者様、職員の気迫に吹き飛ばされたのか、綺麗な夕暮れのなか開始となりました。



テーマ音楽と共に颯爽と登場した安藤院長の「真夏の夜の夢を一緒に見ましょう」との挨拶から始まった大会は、各病棟、部署の代表による太鼓の演奏と、艶やかな“大府ばやし・小唄保存会”の皆様の踊りにより、大きな盛り上がりを見せました。昨年同様200名を超える来場者があり、昨年より行なっているお子様向けの模擬店は、ご家族で来場された地域の皆様で大盛況となりました。当初「お菓子が余ったらどうしましょう…」とやや弱気な発言をしていた担当者もホッと胸を撫で下ろし、その後太鼓演奏で会場中を沸かせてくれました。ちなみに昨年大混雑し、ご迷惑をお掛けした模擬店も、「一方通行にしたら？」というある職員のナイスアイデアにより、今年

はスムーズに食事の提供を行うことができました。また、休憩時間には“でらおおぶ”の皆様が、観客にまで元気を分けてくれるようなパフォーマンスを繰り広げて下さり、皆焼きそばを食べるのをしばし忘れ、手拍子を送っていました。



「盆踊り大会」は病院の一行事という枠に留まらず、さまざまな地域の皆様に支えられ、地域に定着した祭りになりつつあると感じております。同時に、「祭りを自分達で盛り上げよう!」という職員の気持ちも年々強く感じるようになってきました。今年は、開催にあたり奮闘した実行委員の頑張りはもとより、「何か協力できることはありますか?」と自主的な問合せも多く、病院全体に支えられていることを実感しました。



踊り終了後、各病棟の最も印象に残った方が、加藤理事長と榎本名誉院長より表彰されました。賞状を受け取る際の患者様は皆素敵な笑顔で、その笑顔を見て「やりきった」という満足感と、嬉しさが込み上げてきました。



最後に、今回協力して下さった全ての方に感謝すると共に、当日来場していただいた皆様に御礼申し上げます。そしてぜひ来年も一緒に「夢」を見られることを願って…。

作業療法課 古橋 雅美

ボランティアのみなさま

《大府ばやし・小唄保存会》

大府市をアピールする“大府ばやし・大府小唄・大府音頭”という踊りをいろんな人に知ってもらうため「保存会」として大府市の季節行事への参加や踊りの指導など、精力的に活動されています。現在180人の会員を持ち来年は35周年を迎えられます。



《でらおおぶ》

大府のおいしいぶどうをアピールして地域に密着した活動をはじめ11年を迎えられます。子供から大人まで元気になるようなパフォーマンスを毎年見せていただいています。



省エネ委員会

当院の省エネ委員会は平成15年4月に委員会として発足し、以後毎月1回委員会を行なっております。メンバーは各部署から選抜された委員14名です。

活動内容は、院内に対する省エネの啓蒙と推進として、電気、ガス、光熱費の節約方法等の研究。加えて、省資源のためのリサイクル活動として、ペットボトルのキャップ再利用に取り組んでおります。

省エネに関しては皆様もよくご存知かと思いますが、平成23年の東日本大震災に基づく原子力発電の停止と火力発電の増大による電気代やガス代の高騰もあり、当院に於いても光熱費が増大しております。この問題に対し、当委員会としては各職員の知恵と能力を結集し、電気の上手な使用方法や省電力機器の研究、ガス空調の効率的な使用法の探求しております。このような活動の効果もあり、平成23年は光熱費の高騰があったにも関わらず、年間では前年比微減の実績となっております。これは委員ばかりで無く、当院職員や患者様のご協力あっての成果であり、大変感謝しております。また、リサイクル活動として皆さんに協力して頂き集めたエコキャップは、年1回安城市のフジイ化工株式会社へ提供しています。平成23年の実績はキャップ34,712個、86.78kgでした。この活動を通じて地球にやさしく、現在発生している環境問題への一助となればと思っております。

皆さまの支援を受け、今後も委員会活動を推進していきたいと思っておりますので、更なるご協力をお願いします。

委員長 星野 信祐



職員食堂のひととき



当院の食事は、入院患者様用をはじめ、職員食堂、院内保育所にいたるまで、株式会社マルタマフーズさんに委託しています。日々の献立もさることながら、患者様ひとり一人に合わせた調理方法や、職員食堂での選択メニューなど、様々な工夫が感じられ、とても感謝しています。

そんな中 職員食堂では、季節ごとに年4回バイキングがあり、しかも定食と同価格(350円)でとてもリーズナブル!いつもにぎやかな食堂は、さらに活気があふれます。

そんな中 職員食堂では、季節ごとに年4回バイキングがあり、しかも定食と同価格(350円)でとてもリーズナブル!いつもにぎやかな食堂は、さらに活気があふれます。



気分転換、職員間の交流、午後に向けての準備など、働く私たちにとって、お昼の休憩時間はとても重要です。「食」は元気の源だと実感しています。

総務課 丸山 浩史

編集後記



今年は夏季ロンドンオリンピックが開催され、白熱した競技も多く、寝不足になった方もいたのではないのでしょうか?日本選手の活躍している姿に元気と勇気を貰いました。そんな中、色々な選手が「家族、関係者、応援して下さる皆さんに感謝」と口を揃えインタビューに答えていた言葉が印象深く焼き付いています。

さて、今回の広報誌より当院で行われている委員会活動を紹介します。現場の声を紙面に載せてゆきます。初回は省エネ委員会でしたが皆さんどうでしたか?各職種の代表が取り組んでいる姿がお分かりになったのではないのでしょうか。これからも多くの方に読んで頂けるよう広報誌委員一同、向上心を持って取り組んでいきます。

広報誌委員会 石坂 裕教

福祉有償運送サービス

訪問介護事業所

れんげ草

福祉有償運送サービスは、訪問介護事業所れんげ草が行っているサービスのひとつで、障がいをお持ちの方が低価格で利用できる移送サービスのことです。ご利用にあたっては、最初にれんげ草へ会員登録を行なっていただきます。登録は簡単な手続きで済みます。その後、いつ利用するのかご相談したうえで予約を行ないます。

有償運送を行なうスタッフは、運転技術の研修を受けています。また、運転だけでなくご利用される方の障がいや病状に合わせた支援ができるよう介助の技術も学んだ専門職が伺いますので、運転サービスだけでなく目的地での移動のお手伝い、介護もさせていただきます。

移動の料金や介助料などについて詳しくお知りになりたい方は、れんげ草へぜひご連絡ください。

様々な病気や障がい以外に出ることにはためらいを感じている方、体は動くけれど一人で外出することに不安を感じている方に、私たちの支援が少しでもお役にたてれば嬉しいです。

訪問介護員 伊丹 麻衣子



〒474-0071
愛知県大府市梶田町二丁目123番地
TEL: 0562-45-7227 FAX: 0562-45-7230
ホームページ <http://www.kyowa.or.jp/renge/>
営業のご案内
<年中無休> 24時間連絡可能です。
事務所不在のときは職員の携帯する電話に転送されます。
<ヘルパーのサービス提供時間> 朝6時～夜10時まで

看護職カムバック研修開催のご案内

「自信がない…」から「挑戦したい…」へ

当院では、社会貢献の一貫として、看護師・准看護師の免許をお持ちの方で、様々な理由で看護職から離れている方を対象に看護技術研修を行ないます。「やってみたいけど自信がない」方、この機会に是非参加しませんか？明るく優しいスタッフが皆様の自信回復を応援します。

- 日時: 平成24年10月19日(金)
9:30～15:00(休憩1時間含む)
- 場所: 特定医療法人共和会
まごころ館 会議室(共和病院隣接)
- 内容: 吸引、新しい移動方法、注射について
- 講師: 当法人 職員
- 費用: 無料

- 昼食は各自ご用意ください。
(共和病院職員食堂、喫茶店もご利用いただけます)
- その他: 1歳から3歳までの託児をいたします。
託児料1500円(託児中の昼食代含む)
- 申し込み・お問い合わせ
電話 0562-46-2222
メール: nurse@kyowa.or.jp
(担当 看護部 松下・中井)

お知らせ

- 9月23日(日)
第30回大府市福祉・健康フェアに出展します。
- 10月13日(土)
第7回文化祭「てんてん祭り」を開催します。
テーマは「挑む」です。
みなさまのご参加をお待ちしています。
- 11月17日(土)
第14回 共和病院
地域医療フォーラムを開催します。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることが出来ます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>